

K E  
気

## SGH 通信

K O H  
高海を素材とするグローバルリテラシー育成  
～東日本大震災を乗り越える人材を目指して～

第 2 号 平成 28 年 8 月 25 日発行

## 防災講演会・防災ワークショップ 6月29日(水) 1年生対象

講師 東北大学災害科学国際研究所 教授 川島秀一 氏  
助教 佐藤翔輔 氏

本校のOBでもある川島先生からは、「これまで気仙沼にはどのような災害が起きてきたのか、それが地形とどんな関係があるのか」を昭和前半の気仙沼市内の写真を使いながら説明していただきました。特に、気仙沼市は「埋め立て」られて、現在の地形が形成されていることなどを初めて知る生徒が多かったようで、興味深く聞き入っていました。

佐藤先生には、川島先生の講話から学んだことを可視化（見える化）し、深い学びとするための防災ワークショップを実施していただきました。6～8人のグループを作り、まず、「ハ・ゼ・ジ・カ」を用いて一人ひとりが講演から学んだことを付箋に書きだし、次に、付箋を模造紙に貼り、自らの震災の経験を活かして話し合ったことや学んだことをグループごとにまとめていきました。※「ハ」初めて知ったこと、「ゼ」ぜひ他の人に教えたいこと、「ジ」自分で調べてみたくなったこと、「カ」感想のことです。

生徒の感想◆気仙沼の先人たちは、何度も津波がきても気仙沼を再起させ、海と共に生きることをあきらめなかったことがすごいと思った。◆リアス式海岸は災害には弱い、山が近くにあり、資源が豊富なので復興が早いことがわかった。◆「埋め立て地は、海が取り返しに来る」という表現が印象的だった。防災を考える上で地形や風土などをもっと知りたい。◆階上や唐桑地区で水害が多かった理由をもっと知りたいと思った。◆ワークショップでは、意見交換をすることで自分の考えを広げることができた。◆グループでの話し合いを通して、自分の考えを整理することができた。これからの研究活動にも活かしたい。◆ワークショップでは、同じ話を聞いても人により着眼点が違うことを実感した。



ご講演をいただいた川島教授

ワークショップ発表の様子  
～中央が佐藤助教～

## テクニカル講座 ～研究活動に活かすテクニックを学ぶ～

7月4日（月）地域社会研究の時間を3コマ使い、「レポート文章講座」、「IT活用講座」、「図書情報講座」の3つの講座を実施しました。2クラス1グループとして3グループを作り、ローテーションで回る方法で実施しました。各講座の内容は次の通りです。

☆レポート文章講座：担当者オリジナルのプリントを用いて、思考方法の広げ方、説得力のある意見文の書き方を学ぶ講座。

☆IT活用講座：コンピュータを使用し、インターネットを用いての情報検索、新聞データベース検索、論文検索の手法を学ぶ講座。

☆図書情報講座：文献の探し方，校内外の蔵書検索方法，パスファインダー，レファレンス共同データベースの活用方法，参考文献リストの記載方法を学ぶ講座。



レポート文章講座：視聴覚室



IT活用講座：第1PC室



IT活用講座：第2PC室



図書情報講座：大講義室

## 夏の生徒交流会 ～多様性・協働性・行動力を高めて～

### <良き出会いがあり，貴重な夏の思い出となりました>

7月16日（土）神奈川県立秦野高校関係者39名：交流会では，本校生徒から被災後の学校生活についての説明を行いました。その後，避難訓練のあり方など，防災について考えていかなければならないことについて互いに意見を交わしました。



秦野高校との交流会



つばさネットワークとの交流会

7月18日（月）・7月23日（土）「がんばろう！つばさネットワーク」127名：大阪府立北摂つばさ高校が中心となって作られた団体で，東日本大震災の直後から気仙沼市を訪れ，ボランティア活動や募金活動などの支援を続けてこれられ，本校との交流も8回目となりました。今回はクイズやゲーム，ワークショップなどで交流会を行い，大いに盛り上がりました。

7月27日（水）富山県立魚津高校2年生26名：「地域政策研修」で本校を訪れました。本校生徒8名と，午前中は体育館にてビーチバレーボールで親睦を深め，午後は，班ごとに気仙沼市内でフィールドワークを行い，気仙沼の魅力について学びました。1班は「斉吉商店」を，もう1班は「アンカーコーヒー」と「気仙沼ニッティング」を訪問しました。



「斉吉商店」で郷土料理づくり



大切に育てます♡

8月4日（木）広島県立御調（みつぎ）高校3年生3名：交流会では，本校生徒から震災直後の学校の様子や，その後の学校生活などについての説明を行い，次に御調高校から，原爆についてこれからの世代である高校生が考えていかなければならないことや，地域活性化の取り組みなどについてお話いただきました。御調高校さんからは，貴重な「被爆アオギリ」の苗木をいただき，本校地内に植樹しました。

8月8日（月）神奈川県の向上高校生徒34名：「東日本大震災復興ボランティア隊」として本校を訪れました。本校生徒から震災時の経験や気仙沼の状況などについて伝え，今後発生する地震への対応についてグループディスカッションを行い，意見交換をしました。



向上高校のみんなと一緒に！